



学びの情報 『笑顔づくり』



町民の皆さんが、いつでも気軽に学習できるよう、自然、歴史、食、スポーツなどさまざまな情報を提供します。

より楽しく、皆さんの生活に役立つ情報を発信していきますので、ぜひ、ご活用ください。

問 教育委員会 文化社会教育課 ☎42-3060

奥深き 俳句の世界



俳句とは、「古池や 蛙 飛びこむ 水の音」のように、五・七・五の十七音で表現する詩のことを指します。このように短い詩は世界でも珍しく、「世界一短い詩」とも言われます。

俳句の歴史

室町時代から鎌倉時代に、俳句の元となる五・七・五の形式が生まれ、明治時代に正岡子規によって「俳句」という呼び名が定着しました。

俳句と川柳の違い

川柳も五・七・五で表現されますが、俳句との違いは、春夏秋冬の自然を表す「季語」が使われていないことです。

学びの種をまき、 笑顔の花を咲かせよう。



1978年に俳句サークル「岬俳句ポスト」を設立し、40年以上ふるさとを題材に俳句を作り続けています。

川内谷 弘美さん（白神）

今回のナビゲーター

入選された川内谷さんの作品を一部紹介します。

暁俳句大会 特選

背負い児の
足も濡らして
昆布拾う

《作品の解説》

この作品は、50年ほど前の生活で、若い漁婦が子どもを背負って昆布拾いをしている状況を詠んでいます。

俳句を作ってみよう！



俳句を作るためには、

☆五・七・五の十七音にする

☆「季語」を使う

という2つの大切なルールがあります。

このルールを意識しながら作ってみましょう！

①テーマ、季語を決める

日常生活や風景のなかで発見したことや、自分が俳句にしたいと思ったことをテーマにしてみましよう。

い出してみましよう。

③五・七・五の形にする

①～②を五・七・五の形に当てはめてみましょう。

☆ほかにも、「や・かな・けり」などの切れ字を使うと、俳句らしさが一気にアップします！

【例】

古池に↓古池や
光ってる↓光りけり